

まちかね会 会報第1号・近況遠況



「大阪大会館」と名前を変えて残る旧イ号館

100種類超の多肉植物を栽培中

西原(中尾)いつ子

趣味は多岐にわたりますが、なんでも夢中になっては猪突猛進して砕け散るタイプ。

今、取り組んでいるのは多肉植物栽培です。栽培数は100種類を超えます。原産地や属名、特徴や栽培注意点などExcelで一括管理していますが、個々の名前をすぐに忘れてしまいます。

基本的には、読書と音楽が生きがい。いわゆる”活字中毒”です。

まだ見ぬ「弘前城」思いワクワク

井元 秀實

お城巡りが趣味。国内には、江戸時代の天守閣が残る城が12城あります。現存天守12名城。このうち、まだ訪れていないのは青森県の弘前城のみです。

江戸時代の天守閣は、戦前には和歌山城や岡山城など割と残っていましたが、残念ながら数多くを戦災で焼失しました。このため、戦火を免れた天守閣は、地方にある城がほとんどです。

GW明けに東北旅行を企画。もちろん弘前城は絶対に行く赤◎候補。その勇姿を思い描いて、今からワクワクしています。

モットーは「やれること今やろう」

武田(山川) 多永子

一昨年会社員生活を卒業して以来、大阪の母の施設に通うため、大阪と東京、半々の生活をしていましたが、昨年あつけなく他界してしまいました。これから何をしようかと模索していたところに、ちょっとややこしい病気が発覚。でもお薬のお陰で普通の生活が送れていることに感謝、感謝です。

好奇心を大事に、やれることは今やろうと意識も変わりました。趣味は旅行、観劇、下手なゴルフ、かな？

悩みは空き家と鉢植え管理

大森 淳史

昨年勤務校を退職しました。あと2年は週1コマの授業と、4月からは月1回カルチャーセンターの講座がありますが、気楽になりました。母親が療養型病院に入ったため空き家になった家の管理と、隣家のご老人からもらった鉢植えをいくつか枯らしてしまったことが、悩みの種です。

4月から2年生になる双子の教育について、そのうちどなたかご教授ください。

孫の世話でバタバタも充実の毎日

萩原(加藤)真知恵

横浜に住む長男に二人目が誕生し、上の子(2歳の女の子)をうちで預かってバタバタしています。

すぐ近所に次男一家が住んでいて、そっちの孫(8歳、5歳、2歳)がよく遊びに来てくれて賑やかです。両親のいない環境にもようやく慣れてきてくれて私も少し楽になってきました。GWくらいに帰ります。それまでメールの返信など滞りますがご容赦ください。

趣味のテニスとピアノは何とか続けたいのですが、どうなることやら…(汗)。また、皆様にお会いできる日を、待ちかねております(笑)

宝塚歌劇、ジュリー、古楽を喜びに

新倉(宇都宮)敦子

先日は、「旧交を温める宴」にお誘いいただきありがとうございました。あの日は、ちょうど、宝塚歌劇・月組の加美乃素貸切公演とかぶってしまいました。“取得は超難関”といわれた公演チケットに当選。それで、薄情にも、宝塚月組公演を優先してしまいました。国文科卒の田中(旧姓・矢野)美奈子さんと2人です。田中さんから「皆さんに)よろしく」とのことです。私は皆さんが1次会を終えて店を出られた頃に合流し、新地のバー「ASUKA」にご一緒できて嬉しかったです。

ところで、私のメアドは「juliemanianandaze=ジュリーマニアなんだぜ」。ジュリーがタイガースでデビューして以来の沢田研二ファン。宝塚とジュリーをこよなく愛し、そして狭量な古楽オタクであることを喜びとしています。



加藤さん紹介の北新地のバーASUKAで2次会

不良老人は深夜散歩する

立野(寺村)慶子

前世紀の遺物になってしまった専業主婦をやってきました。社会に自分の場所を築いてこられた皆さんの中で少々肩身は狭いのですが、一度に一つの事しか出来ない私には合っていたのかと。

今は図書館をMy本棚に活字と戯れ脳の老化に待たをかけ、深夜散歩でコロナ自粛(或は加齢による劣化?)で衰えた体力回復を図り、孫たちの襲来にそなえる“ゆるーい ばーば”やっています。

私も秋田を極めるわ!

吉川(辻本)純香

飛鳥時代前期の造営と言われる日本最古のため池「狭山池」。この池の周りを午前7時ごろから約1時間ウオーキングするのを日課にしています。春たけなわ。池の堤には満開の桜が咲き誇り、その桜並木の下を歩く至福を堪能しています。

昨年、次男が新天地を求め秋田に行ってしまいました。某大学院での研究員という不安定な身分に見切りをつけ、秋田県立大学に助教の職を得たのです。うーん、でも秋田は遠い。「ならば私も秋田を極めよう!」と決意して4月に3回目の秋田旅に出かけます。乳頭温泉と桜祭りの角館に行ってみよう!

秋田はいよいよ奥が深くなりそう?!

”何もせん(専)業主夫”脱却へ

森 俊彦

新聞社を退職して丸4年。年金暮らしが板についてきました。「小人閑居して不善をなす」の言葉通り、人の役に立つことも収入につながることも何もしていません。ようやく、職業欄に「無職」と書くことにも抵抗感がなくなりました。

趣味は、全国の名城めぐりとボケ防止の麻雀(ここ数年、実践はご無沙汰)。高齢夫婦だけの生活で、「共助」の必要性を痛感し、「何もせん(専)業主夫」を脱却して、「何事もこなせる主夫(見習い)」へ大変身すべく特訓中。空き家になった実家の家仕舞も頭痛の種です。

文学部・文学研究科同窓会のHPにも訪問を

村田 路人

2020年3月に24年間務めた大阪大学大学院文学研究科(日本史講座)を定年退職し、引き続き、須磨にある神戸女子大学文学部史学科で日本近世史を教えています。

私の研究テーマは、近世支配の特質の解明です。70歳の定年まであと2年となりましたが、最近、頭と体の老化が顕著です。完全にボケないうちに、「日本近世治世史」(治水も支配の一つ)に関する本をまとめたと思っています。

なお、現在大阪大学文学部・文学研究科同窓会の副会長を務めています。是非そのホームページを見て下さい。(<https://www.let.osaka-u.ac.jp/dousou/>)



大阪大学文学部本館

おはなし覚えに四苦八苦

北川(前田)優美子

大阪府立高校を退職後、何年間か非常勤講師や生徒の介助員等をしてきましたが2020年以降自宅で過ごしています。二人の子どもは自立し、親を順に見送りました。現在は夫と二人暮らしです。

おはなし(ストーリーテリング)と子ども食堂のボランティア(月2回のペース)、山や町を歩くことに時間を費やしています。おはなしボランティアは、地元の小学校や幼稚園に出向き、おはなしや絵本で子どもたちと一緒に昔ばなしの世界を楽しみます。

新しいおはなしを覚えて持ちネタを増やしたいところですが、寄る年波でなかなか頭に入ってこないのが悩みの種です。

新たな「きょうよう」と「きょういく」追求

正田 隆司

8年前の3月31日 60歳で退職。再任用で4月1日から勤務、退職の実感もなく65歳を迎え、週2日勤務となり少しユツタリした日々、そして令和5年度はいよいよ完全退職です。

日々どう過ごすか趣味の旅を毎日続ける訳にもいかず、果たして身体が耐えられるかどうか分からないまま、テニススクールや近隣の大学の講義を申し込み、「きょうよう=今日用の」と「きょういく=今日行く」場所を求めて試行錯誤の日々を過ごす予定です。

ただ、旅だけは月1回、計画し実行するのを楽しんでいます。高知、鳥取、東京に行った時にはよろしく。ちなみに家事はほぼ毎日の昼食・週2回の夕食、日々の洗い物等着実にこなしています。

ほど遠い遠い、悠々自適生活

正者 充朗

4月から引き続き北野高校で非常勤講師をしています。

できるだけ小遣い稼ぎしなければいけません。何せ、歯の治療(インプラント)で去年100万円ほど使っているし、自転車でも結構使ってます。

私の自転車は現在3代目で、最初はクロスバイク(T字ハンドルのやつ)で、今はロードバイクです。カーボン製で、油圧式ディスクブレーキで35万円ですが、ロードバイクとしてはそれほど高い方ではありません。高いのは3桁になります。ウエアや装備品を含めると結構な費用がかかります。

一人で走るのが好きなので競技会やイベントには参加していません。普段は万博外周を3周走って帰るといふトレーニングをしています。ピワイチ(琵琶湖一周)を目指していますが、まだそれほどの余裕はありません。

今は妻と二人暮らしです。独身の娘がいますが、別の所で一人暮らししています。まだまだ悠々自適とは言えない毎日です。

畑仕事と山歩き…自然が友達

玉越 和博

退職を機に7年前、大学入学以来 45 年ぶりに姫路に帰ってきました。両親が残してくれたわずかな畑で、四季折々、10 種類以上の野菜を育てています。

春のこの時季はとにかく忙しい。3月以降、冬野菜の収穫とその仕舞い。ジャガイモの植え付けやタマネギ、サヤエンドウなど春野菜への施肥などの世話。続いて夏野菜の畝立てと種まきの準備。休む暇もないほど畑に出ています。

4年前にシニア大学で山友と巡り合い、山歩きを再開。若い時とは違って、今は山頂からの眺め、自然の木々や草花などとの出会いを楽しんでいます。特に、里山でヤマザクラが咲きだすと、深山ではツツジやタムシバ、アカヤシオなど樹花が次々と咲き、「山笑う頃」まで、あちこちの山行に忙しくなります。

また、現在、「姫路観光ボランティアガイドの会」でガイドの研修中。姫路城の内濠を巡ってビューポイントを案内しますので、姫路を訪れる際にはご一報を！！

気がつけば書籍編集 47 年

矢熊 晃

卒業後、入社した福武書店(現ベネッセ)は、ちょうど成長期で、教育出版から文芸書・一般書の出版に進出する時期でした。

入社4年目の春、希望が叶い東京の出版部に異動になり、様々な著者やクリエイターに出会い、刺激と学びの時期を過ごしました。

その後、自分なりの出版をやりたいくなり、1997 年に吉祥寺に出窓社(でまどしゃ)という小さな出版社を設立。2013 年に、自宅近くの国分寺に移転しましたが、いまでも楽しく出版活動を続けています。

いま事務所のあるマンション名が「アリストテラス」というのは、まったくの偶然ですが、折に触れ卒論との苦闘史を思い出させてくれます。

三重まで車”通勤”して畑仕事

木村 康夫

先日、山の畑に出かけた時は桜があちらこちらに咲いていました。大阪から奈良を通り抜け三重の畑まで車で 2 時間ほど。途中で買い出しをしながら、遠足気分で行かれています。藤原京跡、又兵衛桜など人気のスポットもありますが、観光客のいない名所も多く、車窓を彩ってくれます。

道端の雪が消えたなど思っていたのが、もう花盛り。連翹の黄、雪柳の白、木瓜の垢、もちろん桜、桃の柔らかな桃色。畑にはとう立ちした白菜、畝のそばに露の臺、大輪の白椿、盛りを過ぎた梅。

夏野菜の準備に忙しくなってきました。麦わら帽子に長靴。鍬を握り、豆トラを操って畝立てをしています。痛めた膝をかばいながらなのですが、時間だけは余裕がありますので、ゆっくりと畑仕事をやっております。



卒業後初めて開催された「旧交を温める会」

(2023 年 3 月 4 日、大阪駅前「日本料理河久」にて)

◇まちかね会について

本会は、原則として 1973 年に大阪大学文学部に入学した同窓生の親睦会です。同窓生であれば、どなたでも参加できます。また、入学年が多少異なっても、同窓生の紹介があれば、参加できます。

ちなみに会の名は、大学のある待兼山と久しぶりの再会を期して名付けました。

●大阪大学豊中キャンパス散策

今回の会報のために、大森君が最近のキャンパスの様子を撮影してくれました。2023年4月



阪急石橋駅は、駅名に阪大前の文字が入りました



懐かしの石橋商店街と今も健在のタローパン



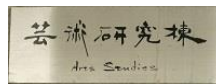
大学へ向かう阪大坂はきれいな石畳に



改装された旧口号館



草木が生い茂った文・経・法校舎前の広場



美学棟は「芸術研究棟 Arts Studies」と名を変更



故・木村重信先生が設置された彫刻



昔のままの学生会館